

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 200501-1J

検索サイト	Google	実施日	2020/05/01	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア AND 水道」で検索（「インドネシア の 水道」と表示される）					
URL：https://news.panasonic.com/jp/press/data/2019/08/jn190808-1/jn190808-1.html					
<p> <b>標題： インドネシア ウォーターポンプ グローバル生産累計 3000 万台（※1）を突破</b>                  2019 年 8 月 8 日、プレスリリース、パナソニック エコシステムズ株式会社             </p>					
<p> <b>【インドネシアにおけるウォーターポンプの現状】</b>                  インドネシアでは、電動ポンプを利用して井戸から汲み上げた水を、飲料水以外の生活用水として広く利用している。現地では、電力事情が未だ乏しい地域もあり、照明やテレビ、冷蔵庫などと同時に消費電力が大きいポンプを動かすと契約電力量を超えることがある。そのため、ポンプ使用時には、他の電気機器のスイッチを切るなど、不便な生活を強いられる家庭も多く存在する。当社は、消費電力の少ないご家庭用の小容量タイプから大容量タイプまでの幅広い品ぞろえで、各国それぞれの水道事情や井戸事情を踏まえ、電動ポンプの新製品の開発を推進している。             </p> <p> <b>【当社ウォーターポンプのあゆみ】</b>                  現在、当社のインドネシア市場におけるウォーターポンプは、Panasonic と SANYO の両ブランドを展開している。1988 年、National（現 Panasonic）ブランドのウォーターポンプを生産開始した。1998 年に新工場を設立し、生産規模を拡大。2011 年には SANYO ブランドの製品も生産を開始した。現在、PMI は、Panasonic、SANYO、KDK ブランドのポンプを製造する当社唯一のグローバルウォーターポンプ工場です。近隣諸国への輸出は、1992 年マレーシア、1998 年ベトナム、1999 年ミャンマー、2016 年から中近東にも販売範囲を広げ、インドネシア国内にとどまらず、アジア・中近東でも水事業で人々の生活環境向上に貢献しています。             </p> <p>                 当社は、これからもインドネシアで培った技術力とブランド力を生かし、アジア諸国や中近東など、グローバルで水道環境の改善に貢献していく。             </p>					
備考 特定企業の情報であるが、インドネシア水事情の一端として紹介。					